

令和7年度藤井寺市地域部活動あり方検討委員会 会議録

会議の名称	令和7年度 第1回藤井寺市地域部活動あり方検討委員会
開催日時	令和7年7月30日(水) 午後5時30分から
開催場所	藤井寺市市民総合会館 中会議室 A
出席者	<p>委員: 藤井寺市スポーツ推進委員:山根 義文 藤井寺市体育協会加盟員:瀧ヶ平 明弘 保護者代表:堂脇 友美 藤井寺市校長会:北村 敦士 藤井寺市教頭会:吉田 真一 中学校教員代表:中村 和昭 市民生活部協働人権課:龍見 美行 教育部教育総務課:中村 真也 教育部学校教育課:田中 守 教育部生涯学習課:辻野 智一 教育部スポーツ振興課:八木 淳一</p> <p>(順不同・敬称略)</p> <p>事務局: 教育部長:大山 哲也、教育部教育監:寺田 剛、 学校教育課主幹:富田 智子</p> <p>オブザーバー 道明寺中学校首席:大鳥 亮太</p>
欠席者	保護者代表:堂脇 友美
会議の議題	地域移行に向けて
会議の成立	委員11名中、過半数(10名)の出席があり、藤井寺市地域部活動あり方検討委員会規則の規定により成立
傍聴者	0名
会議録の作成方法	要点記録
記録内容の確認方法	会議の議長の確認を得ている
公開・非公開の別	公開

○事務局

皆さん こんばんは。

只今より、令和7年度第1回藤井寺市地域部活動あり方検討委員会を開催いたします。

開会に先立ちまして、委員の皆様方には、次の点についてご了解いただきますようお願いいたします。

本委員会について、原則公開となっており、本日の傍聴者は0人です。

次に本日の内容につきましては、議事録を作成いたしますため、録音させていただきますので、ご了承願います。

最後に、本日の委員会の内容の中で個人のプライバシーに関する内容が含まれた場合は、守秘義務も含め、適切に対応していただきますようお願いいたします。

また、前回の会議録についてです。資料1について、委員の皆さまにはすでに送付させていただき、ご意見いただいた点については一部修正しております。お示ししている内容で決定してよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

議事録につきましては、当日提示した資料とともに後日ホームページにアップする予定となっておりますのでご了承ください。

さて、昨年度から委員の交代がありました。学校教育課長の岸委員が藤井寺中学校の教頭として異動となり、後任として田中課長が着任、生涯学習課長の杉多委員が異動となり、後任として辻野課長が着任されております。また、藤井寺中学校の黒田委員が道明寺小学校へ異動となりましたので、中学校教頭代表として、第三中学校の吉田教頭先生を委員として任命させていただきます。田中委員、辻野委員、吉田委員、自己紹介をお願いします。

○田中委員

学校教育課長の田中です。よろしくお願いします。

○辻野委員

生涯学習課長の辻野です。よろしくお願いします。

○吉田委員

第三中学校教頭の吉田です。よろしくお願いします。

○事務局

それでは、これより、委員長と副委員長に司会進行していただきます。

昨年度から引き続き、山根委員長、北村副委員長よろしくお願いします。

○山根委員長

それでは、次第2「地域移行・展開に向けて」です。

まずは「昨年度の取組報告および令和7年度の進捗状況について」です。

事務局お願いいたします。

○事務局

資料2をご覧ください。

昨年度の取組み状況についてまとめております。

続いて、令和7年度の進捗状況です。

はじめに、①の「部活動指導員配置の拡充」です。まず、昨年度、第三中学校のバドミントン部に新しく外部指導者である部活動指導員を配置するとお伝えしておりました。年度当初に配置したのですが、残念ながらご家庭の事情により退職することになり、現在は昨年度も指導していただいている外部指導者が指導可能な日に来ていただき、顧問の教員と指導している状態です。現在部活動指導員を捜索中です。

第三中学校のバドミントン部には現在部活動指導員を配置できていませんが、配置しているクラブもあります。藤井寺中学校のサッカー部、バレーボール部、吹奏楽部、道明寺中学校のソフトボール部、バスケットボール部、バレー部、剣道部、卓球部、吹奏楽部、第三中学校のサッカー部、剣道部、吹奏楽部です。

先日部活動指導員を配置しているクラブの顧問の先生にアンケートをとりました。資料2-2をご覧ください。

(アンケート項目3) 部活動指導員の主な活動内容は「技術指導」「試合・大会の引率」「顧問との連携・打ち合わせ」です。

(アンケート項目4) 部活動指導員の配置により「生徒の技術向上」「生徒の意欲向上」「顧問の負担軽減」に効果があったと答えている先生が多くいます。

(アンケート項目6) また、部活動指導員の活動に対して「満足している」と肯定的に答えている先生は90%を超えています。

(アンケート項目8) 部活動指導員に今後期待することは「指導力・専門性の向上」「勤務時間や活動頻度」が多く、次年度以降も引き続き部活動指導員の配置を拡充できるよう努めて参ります。

続きまして、②の道明寺中学校と第三中学校の剣道部合同練習についてです。本日は道明寺中学校の剣道部顧問である大鳥先生に来ていただいておりますので、今後の剣道部の活動に関して説明していただきます。大鳥先生、よろしくお願ひいたします。

○大鳥先生

道明寺中学校で首席をさせていただいている大鳥です。よろしくお願ひします。資料2-3をご覧ください。

部活動を取り巻く環境は年々変わりつつあり、子どもたちが一生懸命に剣道に取り組むことができる環境が減りつつあります。剣道に取り組める環境を作ること、教員の人事異動等に関わらず、子どもたちが継続的に取り組むことができる場を作りたいという思いから、3年前に剣道団体を作つて活動してきました。指導者は記載の通りです。

今後も、引き続き剣道を学びたい中学生が活動できることを第1の目的で、地域移行団体をめざして活動していく予定です。その上で、中学生が中体連の大会に参加したりなど、部活動の受け皿となれるようにするためには、以下の3の条件を満たす必要があります。

①大阪府剣道連盟に登録された団体であること

→現在、登録申請中です。書類審査は通っており、剣道連盟の視察も済みました。後は、8月中旬に行われ

る理事会にて判断される状況です。

②大阪府剣道連盟に個人登録していること

→①が完了すれば会員は自動的に登録されます。費用はかかりません。

③「地域移行の受け皿となっているクラブ活動」

→中体連に提出するための具体的な書式は必要ありませんが、藤井寺市が結会を地域移行団体と認めただくことが必要です。他市では既に認められている団体が多数あり、市のホームページに載っているところもあります。

④指導者が必要な資格

社会体育指導員を現在、取得中です。

課題としては、教員が部活動である剣道部の顧問として活動すると、地域移行団体の指導者として大阪中体連の活動に参加できなくなることです。教員が地域移行団体の指導者として、部活動の受け皿として活動するためには、部活動の顧問を免除できるかどうかが検討する必要があります。

活動時間と場所については、記載の通りです。

○事務局

ありがとうございます。続けてアルティメット教室についてハ木委員より報告をお願いします。

○ハ木委員

資料は2-4になります。

令和6年度に初めて行った試みで、定期的に同じ子どもたちに複数回教室に参加してもらい段階的にそのレベルを上げていくやり方で実施しました。昨年度好評でしたので、本年度も引き続き実施したいと考えます。

ただ、昨年度、指導を中心に行っていた者が退職しましたので、平日に出てくるのは難しく、本年度は新たに四天王寺大学のアルティメット部所属の学生をスポーツ推進委員として委嘱して、その委員を中心として実施する予定です。四天王寺大学アルティメット部の活動が無い水曜日をうまく使いまして、次の日程の通り実施する予定です。9月17日を1回目とし、11月19日を最終、予備日として1日おさえております。

昨年度は参加者を小学校6年生と中学校は1年生に限定しましたが、本年度は小学校6年生及び中学校1年生と、2、3年生も意欲がある方は参加できるようにしたいと考えています。

それとは別に、市民全体を対象としてフライングディスク教室の2月28日実施を予定しています。全国的にアルティメット競技のオフシーズンとのことで比較的指導者を派遣しやすいのと、昨年までの前任者とも相談してこれぐらいの時期なら指導できるかもと聞いています。また、その者を通じて近隣の大学生や社会人を指導者として参加してもらえないかと考えています。さらに、日体大との連携事業と関連して日体大のアルティメット選手も指導者として来ていただきたいと考えています。

○山根委員長

事務局・大鳥先生・ハ木委員から報告ありました。

何かご質問ご意見等ありますでしょうか。

○山根委員長

私から一つ質問させていただきます。剣道の新しい団体「結会」について、中体連に登録ができるという前提で、ということではありました。また、藤井寺市の剣道薙刀協会さんと相談されたということでしたが、体育協会所属の諸団体が、学校の外部活動、外部移行に対してどういう協力ができるかなということを考えていただいている団体もあるのではないかと思います。そのあたりどうでしょうか。

○瀧ヶ平委員

そういう団体もあると思います。

○山根委員長

もちろん、うちでは対応できないというところもあるかとは思いますが、そういった中で、声掛けを待っていたのに先生方が団体をつくるんだとか思われていないか、他の団体が勝手にするんだと疑問をもたれることがないのでしょうか。

○大鳥先生

僕自身も稽古を見たりとかして指導者のひとりと、また地域の団体と繋がりがありまして、お話をさせていただきました。

地域の方が心配されていたのが、大阪府剣道連盟の登録団体になるので近くに団体ができると、生徒の取り合いがあるのではないかとの心配があること、道場の大会、剣道連盟の大会に出るときに競合するのではないか、を心配されていましたが、私たちは「道場の大会には一切出ません。」とはっきり申し上げました。あくまでも地域の受け皿として中体連の大会に所属する、いわゆる部活動の地域移行団体としてとらえていただきたいと話をしました。

生徒がどっちに所属するのかではなく、中体連から試合に出ることを目的としていると説明をしますと、応援すると言っていただきました。

○山根委員長

剣道連盟に所属しながら「結会」にも所属するという感じですか。

○大鳥先生

形としてはどちらかに登録していれば大丈夫です。剣道連盟に登録することと中体連の大会に出ることは別のことです。剣道連盟に登録していない（個人で）中体連の大会に出ることは可能です。現に中学校から剣道を始めた方は道場に所属せず中体連に所属したということで大会に出ています。

ただ、団体として中体連に参加するためには中体連に団体登録をしないと大会には出ることができないということです。うまく地域団体と共存できればと考えています。

○山根委員長

地域団体との共存はもちろんのこと、他団体がどう思われるのかの反応は気になるので引き続き、活動目

的は明確にアナウンスする必要があると私は感じました。ありがとうございます。

もう1点、スポーツ振興課のほうでフライングディスクの事業を何年か前からしていただいていると、非常に人気の高い事業の1つになっています。このフライングディスク事業を中心とした文化活動も含めた地域移行型の団体にできればいいと考えています。フライングディスクに限らず文化活動も含め、いろんな活動・種目ができる団体になればよいと思っています。

さきほどの剣道のように中体連の登録や指導者をどうするのかがネックになると思うんですが、指導者というよりも、専門性は低いですがこんなことなら一緒に楽しめますよというようなサポーター的な役割をしてくれる方ならたくさんいるのではないかでしょうか。スポーツ振興課中心にフライングディスク以外にもどこまでできるかは難しいと思いますが、いろんな種目をサポーターと一緒に子どもたちが楽しめるような団体ができると思います。

○北村副委員長

いろんな競技スポーツの団体があって、50年ほど前であれば体育協会やスポーツ推進員が種目を運営し団体が出来上がって運営もしていくという流れが全国であったと思います。アルティメットもイメージとしてはそのように考えておられているのでしょうか。

○八木委員

委員長のイメージで言いますと、地域部活動から離れてしまうのですが、総合型地域スポーツクラブ的な色の方が強いのかと思います。多種目、多年齢、多年代が1つの、例えば、藤井寺市〇〇クラブに所属すれば、今日はアルティメットができますよ、次の週に行ったらバドミントンができますよ、卓球ができますよ、といったイメージだと私は思いました。副委員長のイメージで言いますと、そこからフライングディスクや、その中から1つの競技に絞って団体が独立立ちするというのもありかな、と思いました。

○山根委員長

その形になると指導者の資格の問題とかもあるでしょうね。何かの認定を受けないといけないとか、色んな問題が発生するんだろうなとは思っております。

その他何かございませんでしょうか。

○瀧ヶ平委員

冒頭の話ですがよろしいでしょうか。

事務局からの現在の外部指導員状況についてですが、もう少し詳しく内容をデータで出していただくことは可能でしょうか。

どういう人が携わっているのか、教員か民間の方か、週何回、平日なのか土日なのか、人数はどれぐらいか等教えていただきたい。

○事務局

今は大学生の方が多いです。それを専門的にされている方、吹奏楽部なら吹奏楽を専門的にされている方が可能な範囲で来ていただいている。ただ予算があるので予算の範囲内というところになります。平日

土日については各指導員さんの都合の良いときに来ていただいている。またデータでお示しいたします。

○瀧ヶ平委員

時給はいくらですか。どのクラブも一律ですか。交通費は出ますか。

○事務局

時給は現在1,783円です。どのクラブも一律で、交通費は別途支給されます。

○瀧ヶ平委員

学校の先生が指導員をされたら費用はどうなりますか。

○事務局

現在、部活動指導員をされている先生はいません。

○山根委員長

中学校の現場のご意見はどうでしょうか。

○吉田委員

今の現状は、この競技ならできます、という方が学校に声をかけていただいて、部活動指導員になっていただく、という形が多いです。

○山根委員長

中村委員はどうでしょうか。

○中村委員

転勤してまだ3か月ぐらいで、環境が変わったら子どもや先生方の活動も違うんだなあと、さまざまと感じている所です。

どういった意見があるのかはまだ集約はできていません。その話を教職員の中では聞いていない状況です。ただ、この会の最終的な移行についてはシビアというか関心の高い先生が多いので気にはされているのかなと感じます。

○山根委員長

ありがとうございます。

通勤でグラウンドの横を通るのですが、先生方が早く帰られているようになった様子がよくわかります。クラブ活動があったときは遅くまで電気がついていました。

各部署でつかんでいる情報がありましたらお願ひします。ございませんか。

いろいろな情報を入れていただいて、いろんな角度でこの場で共有していきたいと思いますので、情報収集よろしくお願ひします。

先ほど私が申しあげた、専門的な指導はできないけれど、子どもたちと一緒に楽しむという指導員の情報は、ネット情報ですが長野県飯田市下伊那郡で NPO 法人を立ち上げた方が知事になって活動をされたものです。

NPO 団体を作るなどの全ての真似はできませんが、情報としては藤井寺市とはマッチしているかなという話でした。

○北村副委員長

南河内地区で拠点校が増えてるような感じなんんですけど近隣市町村の進捗情報とか調べていただきたいです。

○事務局

またお調べいたします。

○山根委員長

他にありますか。

では、続いて「令和7年度のスケジュールについて」、事務局お願ひいたします。

○事務局

資料3をご覧ください。

令和7年度のスケジュールについてお示ししております。

本市では子どもの指導を引き受けてくださる地域の企業チームやスポーツ団体等がやはり少なく、部活動の地域移行・展開は難しい状況で、現状、学校が主体となって部活動をすすめていますが、可能な範囲で外部指導部活動や合同部活動、拠点校部活動に移行していくという方針を昨年度の委員会で確認したところです。今後、委員のみなさまがそれぞれの立場でできることや考え方等について第2回に協議し、第3回に令和8年度の具体的な取組を確認したいと考えております。

説明は以上です。

○山根委員長

それではスケジュール案に沿って進めてください。

大山部長、寺田教育監何かありましたらお願ひいたします。

○大山部長

藤井寺でしんどいのは、何を始めるにしても受け皿になる団体が既存団体なら受け皿になっていただけるかどうか、ない場合はどうやって立ち上げるのかが大変苦しいところであると思います。

専門性が高ければ、より専門性の高い指導者が必要になるでしょうし、どこで着地するのか。当然費用も発生するでしょうし、どこに絞ってというのが難しいと思います。ちょっとずつ他で追随できるような種目なり文化活動があればよいと考えています。ヒントになるような見聞きがありましたら情報提供お願いします。

○寺田教育監

結会の話の中で、瀧ヶ平委員が、やってみたいという団体もありそうですよ、というお話をされていたと思います。実際具体的にそういう団体がどのようなことを思っているのか、また次回にでも、こういうことだったらできますよとか、こんな競技でとか、とかを教えていただければ、そこから受け皿とかになりうると思いましたので、また次回教えていただければと思います。

○山根委員長

ありがとうございます。私は以前から全くの外部の方がオブザーバーとしてこの場で意見してもらうという場もあってもいいと思っていますので、是非そのような方がいらっしゃいましたらよろしくお願ひします。続きまして、次第の3「事務連絡」についてです。

○事務局

本日はお忙しい中、貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。
令和7年度第1回の開催は本日でございますが、現在の委員の皆さまの任期は令和6年8月1日から1年間ですので、令和7年8月1日からは新しい委員となります。本日参加いただいている委員の皆さんに引き続きお願ひする場合もあるかと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

次回の日程・場所は調整のうえ別途ご案内いたします。

○山根委員長

これで、本日の案件はすべて終了いたしました。これを持ちまして「令和7年度 第1回 藤井寺市地域部活動あり方検討委員会」を閉会といたします。